

2023 年度事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 心澄

その結果、悩む子どもや若者たちに対して、入り口から出口までの一貫した支援を提供できる体制が長崎で構築され、私たちのミッションにまた一步近づくことができました。

資金面の課題は依然として残っていますが、法人として初めてクラウドファンディングに挑戦し、当初目標の150%(150万円)を達成することができました。これにより、財政基盤を整えるための手段の幅も広がりました。

しかし、さらなる課題も顕在化しています。どのような方も断らないという方針はこれまでも、これからも変わりませんが、支援が上手くいかない方々を傷つけてしまうという反省点も多い年であったと実感しています。この問題については、支援の質を上げるだけでは解決できず、長崎において心澄以外の若い団体などの社会資源を育てていく必要があると感じています。そのため、2023年度は「心澄助成金」を創設し、5団体への助成を実施しました。これにより、長崎の市民団体の育成に貢献できたのではないかと感じています。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(件数)	事業費の金額(千円)
訪問相談事業	・訪問 ひきこもり当事者及びその家族を対象にした個別の相談及び訪問支援	通年	長崎市と近郊の市町	5名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族利用者延 110名	496千円
自立支援事業	・居場所 ・清掃ボランティア ・七色クローバー ・人形劇団しんじょう ひきこもり当事者等を対象にコミュニケーショントレーニング	週1回	事務所他 長崎市近隣	4名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 419名	125,919千円
	・家族会 家族に対し、情報交換や交流の場の提供	月1回	事務所他 長崎市近隣	3名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族利用者延 33名	
	・就労体験	通年	事務所他	3名	長崎市とその近郊の市	

就労を目指している者に対して、イメージ作り等のために職場体験を行う		長崎市近隣		町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 43名 協力企業 58社
・心澄団らん 就労後に再孤立化しないために、夕ご飯を共にする時間を提供	通年	事務所	3名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 51名
・来談 心澄事務所に来て、自由に過ごす。また、希望により各種活動に参加	通年	事務所他 長崎市近隣	7名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 1113名
・相談事業 (長崎県子ども・若者総合相談センター事業)	通年	事務所他 長崎県内	5名	長崎県域 延相談件数 6,750件
・相談事業 (地域若者サポートステーション及びそれに付帯する事業)	通年	長崎県全域	37名 ゆめおす 兼務除く	長崎県域 延相談件数 13,570件
・相談事業 (五島市氷河期世代支援事業)	通年	五島市	3名	五島市内 就職氷河期世代の方
・相談事業 (五島市子ども・生活困窮支援)	通年	五島市	2名	五島市内 ひとり親家庭世帯の方
・相談事業 (社会的養護自立支援拠点事業)	2023.08 ～	長崎県	4名	長崎県域 延相談件数 99件 児童養護施設や里親を利用した方等
・校内居場所カフェ 近郊の通信制高校にて、不登校や退学予防のための学内アウトリーチ (連合長崎助成事業)	通年	こころ未来 高等学校	2名	こころ未来高等学校 在校生 利用者延 432名
・助成事業 赤い羽根共同募金等	通年	事務所 長崎県内	1名	長崎市・佐世保市とその近郊の市町に住んでおり、コロナ等の影響で生活状況が悪化している子ども・若者。
・助成事業 生困プラットフォーム整備事業	通年	事務所 長崎県	1名	生活困窮者が引け目を感じることなく利用できるよう居場所等の確保

					を行った。	
ひきこもりに関する周知セミナー等事業	・外部講演等	通年	長崎県内	2名	長崎県域 聴講者数延 6,127名	231 千円
	・定時制・通信制高校等合同説明会	2023.10.5	長崎県庁	スタッフ 10名 ボランティア 約30名	長崎県域 来場者計 316名	
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)	・就労継続支援B型 しんじょう 現時点で一般就労が難しい障害を持つ方々に就労の機会を提供するとともに、その能力の向上に必要な訓練等を行う。	通年	事務所他 長崎県内	7名	長崎県内在住の障害者 利用者延べ 6,082名	35,616 千円
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業(共同生活援助)	・GH 18歳以降の虐待の影響下にある者を主な対象として実施し、死なない生き方と、生き方の獲得を目指す。	通年	おえん(GH) 事務所他 長崎県内	5名	長崎県内在住の障害者 入居者 7名 (3月31日時点) 延利用者数 2,498名	19,025 千円
心澄助成金事業	・心澄助成金 活動を始めたばかりの団体等の次世代育成と繋がり作りを行う	2023.09 ～ 2024.03	長崎市と 近郊の市町	5名	長崎市とその近郊の市町にて活動を行う5つの団体に助成をおこなった	186 千円

## (2)前年度比

		2019	2020	2021	2022	2023	前年比	
事業・活動内容	訪 問	153	187	112	165	110	67%	
	居 場 所	215	104	180	78	145	186%	
	家 族 会	91	60	54	44	33	75%	
	人 形 劇	364	461	475	68	117	172%	
	清掃ボランティア	73	20	100	75	65	87%	
	七色クローバー	79	72	124	79	92	116%	
	就労体験 (協力企業数)	-	-	-	51 (44)	43 (58)	84% (132%)	
	来 談	1,072	780	1152	727	1113	153%	
	心澄団らん	117	89	100	60	51	85%	
	外部講演等	1,966	-	3585	8560	6127	72%	
	そ の 他	47	37	-	19	11	58%	
	校内居場所カフェ	253	150	171	281	432	154%	
	浜町カフェ	-	-	-	-	69	-	
	相談 事業	ゆめおす	5,425	6,784	6,786	6,551	6,750	103%
		サポステ (長崎・五島・佐世保)	4,537	9,472	13,003	12,836	13,570	106%
		アフターケア事業	-	-	-	-	99	-
		B 型	3,550	4,201	6,022	6,187	6,082	98%
		お え ん		556	2,851	3,477	2,498	72%
	総 計	17,944	22,417	34,715	39,270	37,418	95%	

※就労体験はサポステ事業として実施している分を記載。